

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

# 教育委員会の点検・評価

(平成26年度対象)

平成27年7月

富津市教育委員会

# 目 次

## I. はじめに

1. 本市の点検・評価の概要	1
2. 教育委員の活動状況	2

## II. 点検・評価

1. 学校教育の充実	5
(1) 教育総務課（旧庶務課）の取り組み	6
(2) 学校教育課の取り組み	
ア 学校教育課	8
イ 教育センター	10
外部評価者の評価	12
2. 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、 文化財の保護と活用	13
(3) 生涯学習課の取り組み	14
(4) 公民館等の取り組み	
ア 中央公民館	16
イ 富津公民館・埋立記念館	18
ウ 市民会館・峰上地区公民館	20
外部評価者の評価	22
3. スポーツ・レクリエーションの振興	23
(5) 生涯学習課（旧体育振興課）の取り組み	24
外部評価者の評価	26

# I. はじめに

## 1. 本市の点検・評価の概要

### (1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条で、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表するよう求められています。また、点検・評価にあたっては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

富津市教育委員会では、これに基づき、平成20年度の事業から毎年、点検・評価を実施してきました。

今般、平成26年度の点検・評価が終了しましたので報告します。市民の皆様には、教育委員会が行っている日常の業務や課題を知っていただき、一層のご支援を賜りたいと考えています。

### (2) 報告書の構成

今回も平成25年度版と同様に、「富津市第3次基本計画」及び「生涯学習推進計画」の施策指標とそれに対する到達点を3分野に分けて明示しながら、取り組みの実際と自己評価、及び学識経験者2名の評価と意見を記載しました。

平成27年度は、市の組織改編に伴い教育委員会事務局組織も変わりましたが、今回の点検・評価は26年度事業についてのものです。したがって、取り組みの実際と自己評価の記載は、従来の課・機関ごとに行いました。

また、学識経験者の評価と意見は、分野ごとにまとめていただきました。

評価A：事業の効果が現れている。

B：事業の効果が概ね現れている（一部に問題がある）。

C：事業の効果があまり現れていない（多くの問題がある）。

富津市教育委員

平成27年3月31日現在

職 名	氏 名
委 員 長	榎 本 純 子
委員長職務代理者	小 坂 洋 子
委 員	池 田 亨
委 員	宮 田 賢
教 育 長	渡 辺 隆 二

## 2. 教育委員の活動状況

### (1) 定例会議等

- 4月24日 ・富津市社会教育委員の委嘱について
  - ・富津市公民館運営審議会委員の委嘱について
  - ・義務教育諸学校（市立小学校及び中学校）の教科用図書の取扱い方針を定めることについて
  - ・教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について 等
- 5月29日 ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱について
  - ・富津市社会教育委員の委嘱について 等
- 6月26日 ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱及び任命について 等
- 7月 2日 ・富津市教育委員会委員長の選挙について 等
- 7月31日 ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
  - ・富津市学校給食調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 等
- 8月28日 ・富津市一般会計予算教育費歳入歳出9月補正予算について 等
- 9月25日 ・富津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市学校給食調理場管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市移動図書館車運営規程の一部を改正する訓令の制定について 等
- 10月30日 ・報告事項 等
- 11月27日 ・富津市一般会計予算教育費歳出12月補正予算について
  - ・富津市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・富津市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 等
- 12月19日 ・富津市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市スクールバス管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市立中学校生徒の通学費の補助に関する規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市立中学校生徒の通学費の支給に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・富津市学校給食調理場管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市教育委員会被表彰者の決定について 等
- 1月29日 ・報告事項 等

- 2月19日
- ・富津市一般会計予算教育費歳入歳出3月補正予算について
  - ・平成27年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出予算について
  - ・富津市教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について
  - ・非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・富津市学校給食調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・富津市埋立記念館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・富津市埋立記念館管理運営基金条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・退職教職員に対する富津市教育委員会感謝状の贈呈について 等
- 3月26日
- ・富津市退職教職員感謝状贈呈式
- 3月26日
- ・富津市社会教育委員の委嘱について
  - ・富津市公民館運営審議会委員の委嘱について
  - ・富津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市教育委員会会議傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・富津市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・富津市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市教育委員会の所管に係る富津市個人情報保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市学校給食調理場管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市教育委員会事務局職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市公民館及び市民会館の設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・富津市公民館及び市民会館に勤務する職員の週休日等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・富津埋立記念館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 等

## (2) 教育委員協議会 ……事務局とのフリートーキング等

- 5月29日 環小学校・関豊小学校統合実施計画、教育委員会の点検・評価について
- 7月 2日 台風26号(平成25年)による国・県指定文化財被害状況現地視察
- 9月25日 教育委員会制度改革について
- 11月27日 平成27年度教育費当初予算要求方針及び概要等について

## (3) 教育委員の研修等

- 5月21日 君津地方教育委員会連絡協議会総会
- 5月28日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会並びに特別講演会  
講演 「21世紀の学力を創造する～」
- 9月24日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第1回教育委員研修会
  - ① 全体会 (パネルディスカッション)  
テーマ 「教師の指導力を高め、子どもの真の学力を向上させるために、教育委員会は何をすべきか」
  - 分科会 ・「学力向上に向けた具体的な取り組みについて(土曜授業など)」  
・「地域が育む生きる力について(社会性・人間性の育成)」  
・「道徳性を高める教育について」
- 1月28日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第2回教育委員研修会  
講演 「日本医科大学千葉北総病院の児童・生徒を含めた地域とのかかわり～こどもと大人の頭部傷病に対する取組を通じて～」

## (4) 学校訪問

- 6月23日 大貫小学校
- 7月10日 天羽東中学校
- 10月14日 大貫中学校
- 23日 天神山小学校
- 経営概要説明・授業参観 等

## (5) その他

入学式・卒業式、小・中学校音楽のつどい、関豊小学校閉校記念式典等の行事、並びに関係団体・機関の会議等に多数参加した。

## Ⅱ. 点検・評価

### 1. 学校教育の充実

『富津市第3次基本計画』の施策目標と到達点

指 標 名	平成21年度	平成27年度 (目標値)	平成26年度 (到達点)
きめ細かな指導のために配置された指導員数	特別支援教育指導員 3人 外国人指導助手 (ALT) 3人 自立支援指導員 4人	8人 4人 9人	5人 3人 4人 英語指導員 3人 指導補助教員 5人
小中学校校舎等の耐震化率	60.7%	100%	100%



◎教育部全体での取り組み（教育かわら版の発行）

教育委員会が日頃行っている業務等について、市民に理解して頂くために教育かわら版を20年度から発行しており、今年度で通刊30号を迎えた。26年度は計4号を区長回覧を通じて全戸配布し、併せて富津市ホームページに掲載した。7月発行の27号は、市内小・中学校の耐震化が完了、市内不・思・議スポット「城山海食洞穴」、食と子育て～その5等、10月発行の28号は、中学生・高校生の災害時対応研修「岩手県宮古市を訪ねて」、各種スポーツイベント案内、新教育委員長の紹介等、12月発行の29号は、生涯学習推進大会開催案内、富津第二海堡紹介、食と子育て～その6等、2月発行の30号は、関豊小学校と環小学校の統合、就学援助制度・育英資金制度の紹介等、多種多様な内容の紹介に努めている。

財政収支改善策による経常経費削減のための検討は必要だが、今後も引き続き内容の充実に努め、発行は続けていきたい。



27号 (H26年7月発行)



28号 (H26年10月発行)



29号 (H26年12月発行)



30号 (H27年2月発行)

<p>(2) 学校教育課の取り組み ア 学校教育課</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園奨励事業 (38,070,300 円)</li> <li>・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 (13,097,654 円)</li> <li>・特別支援教育児童・生徒就学援助事業 (1,399,893 円)</li> <li>・学校給食管理運営事業 (127,602,799 円)</li> <li>・給食施設整備事業 (5,854,680 円)</li> <li>・給食材料費 (182,248,520 円)</li> <li>・特別支援教育指導員 (7,963,680 円) 等</li> </ul>	
<p>② 26年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園奨励事業 市内に住所を有する補助金該当保護者の子352人(前年度比+1人)が通う、市内外の私立幼稚園10園の設置者に補助金を交付し、幼児教育の振興を図った。</li> <li>・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 準要保護児童・生徒として174人(前年度比-7人)を認定し、学用品費・給食費・児童への通学費補助・医療費等の援助を行った。また、要保護児童・生徒については、医療費2人・修学旅行費4人の援助を行い、併せて保護者の経済的負担の軽減を図った。</li> <li>・特別支援教育児童・生徒就学援助事業 特別支援学級在籍の児童・生徒35人(前年度比+2人)を認定し学用品費・給食費等の援助を行った。</li> <li>・学校給食管理運営事業 共同調理場2箇所(大貫、天羽)の調理等業務委託を民間会社と2年間の長期継続契約を締結し実施した。また、受配校への配送等業務も民間会社に委託し実施した。単独校調理場3箇所(青堀小、富津小、飯野小)は直営にて実施した。 また、富津市学校給食施設整備の指針に基づき、大貫共同調理場へ統合するため、富津小学校調理場を平成27年3月31日に閉鎖した。</li> <li>・給食施設整備事業 給食施設設備の老朽化に伴い、大貫共同調理場廃水処理施設水中ブロワ交換工事、天羽共同調理場屋外ダクト改修工事を実施した。 また、富津小学校調理場を大貫共同調理場へ統合した後の給食配送のための富津小学校調理場給食搬入・搬出口改修工事を実施した。</li> <li>・給食材料費 2共同調理場及び3単独校調理場で年間191日以上給食を実施して、児童・生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進を図った。 また、給食で提供する主な食材の放射性物質検査を行い、検査した延べ66品目全てで放射線は「不検出」だった。</li> </ul>	

- ・特別支援教育指導員

通常学級で過ごす特別支援を必要とする児童・生徒の支援のため、5人(前年度同数)の指導員を非常勤で雇用し延べ6校に派遣した。配置の効果は非常に大きく、学校からも増員に向けた切実な要望が寄せられている。

- ・小・中学校再配置構想の推進

平成21年度から庁内及び地元との協議・検討を重ねた結果、平成27年3月21日、関係者多数の出席のもと、関豊小学校閉校記念式典を行うに至った。

- ・その他

児童・生徒の健全な育成と各種事故防止を図るため、学校と警察並びに教育委員会が学校警察連絡委員会を組織している。26年度も連携を密にし、互いに協力して指導の万全を期した。

### ③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）

- ・私立幼稚園就園奨励、要保護及び準要保護児童・生徒就学援助、特別支援教育児童・生徒就学援助事業

三事業とも市の財政負担が高まる傾向にあるが、幼児教育・学校教育の振興のため、予算の確保に努める。

- ・学校給食管理運営事業（27年度から教育総務課事業）

富津市学校給食施設整備の指針に基づき、大貫共同調理場へ統合するため、飯野小学校調理場を平成28年3月31日に閉鎖する。

また、調理場の統合に伴い更に安定的な給食の実施を確保する必要があるため、配送等業務委託を民間会社と5年間の長期継続契約を締結すること及び、統合先の施設設備も老朽化や耐用年数の経過した機材が多いことから、第2期計画を視野に入れて計画的な更新に努める。

- ・給食施設整備事業（27年度から教育総務課事業）

飯野小学校調理場を大貫共同調理場へ統合するため、飯野小学校調理場給食搬入・搬出口改修工事、大貫共同調理場コンテナプール等増築工事を実施する。

- ・給食材料費（27年度から教育総務課事業）

安全・安心で安定した給食の実施に向け、調理従事者研修の充実、食材の安全確保、食育の推進に努める。また、給食費未納者に対しては、今後も例規に基づいた対応を実施する。

- ・特別支援教育指導員

今後も『第3次基本計画』に基づいて、さらなる充実に努める。

- ・小・中学校再配置構想の推進

閉校した旧環南小、関豊小の跡地については、土地所有権等の整理を進めながら、庁内及び地元とともに有効活用に向けて努力する。また、富津市小・中学校再配置構想の趣旨の周知・理解を進め、今後も適正な学校規模の維持に向け努力する。

イ 教育センター	教育委員会の自己評価 A
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員研修推進事業 (156,448 円)</li> <li>・学力向上推進事業 (10,452,385 円)</li> <li>・外国語指導助手配置事業 (11,025,364 円) 等</li> </ul>	
<p>② 26年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <p>教職員研修推進事業では、夏季教職員研修会を10講座、PC研修会を4講座開催。今年度も、自身の課題に基づく希望参加としたが、延べ300人以上(全教職員が一人平均1回以上)の自主的な参加があった。また、市教職員全体研修会では、特別支援教育に視点を当て、千葉YMCA千葉センター主任の平田真姫氏より「通常学級にいる気になる子どもたちの理解と対応」と題して講演をいただいた。具体例を通して児童理解を進める機会となった。</p> <p>階層別研修としては、新規採用教職員研修、指導補助教員等研修、2年目教員研修、研究主任研修、生徒指導担当者研修、特別支援教育コーディネーター研修、管理運営研修(教頭・教務主任対象)等を実施した。若年層研修としての指導補助教員等研修会には、今年度も多くの講師が参加し、指導法を身につけると共に、正規採用を目指す上でのスキルアップにも心がけた。2年目研修では、授業づくり研修として、指導案検討から指導主事が参加し、授業実践を通して授業力のアップを図った。各研修における、専門的な立場からの示唆や実践例の紹介等が、教職員の力量向上に役立っている。また、指導主事・教科指導員等が学校からの要請を受け、延べ65回程度、指導案作成への助言や校内授業研修会の講師としての役割を担った。</p> <p>学力向上推進事業では、確かな学力の定着を目指した。少人数指導の推進のため、指導補助教員5人を、小学校2校、中学校3校に配置し、授業中の個別指導や適応指導教室での学習支援を行った。個に応じた指導への各学校からのニーズは高く、今後の増員を目指したい。また、学力向上推進委員会を組織し、基礎・基本の定着に向けた学習の充実、外国語活動と英語科の効果的な実施方法を中心に検討を行った。</p> <p>26年度は下記の事項を中心に取り組んだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 基礎ドリル・体力向上プログラム等の活用方法の改善</li> <li>② 算数基礎学習ドリルの追加作成・配信</li> <li>③ 小学校外国活動充実のための手だての広報</li> </ol> <p>外国語指導助手配置事業では、今年度も3人のALTを雇用し、全小・中学校において指導が受けられるように配置した。雇用形態を変更することにより、各校での打合せや担任との連携が充実した。更に小学校の外国語活動には3人の英語指導員の雇用を継続し、ALTとともに学級担任の指導を補助した。</p> <p>生徒指導・教育相談体制として、自立支援指導員4人を小・中7校に、適応指導相談員2人を適応指導教室に配置した。県から派遣されたスクールカウンセラーは、中学校5校に配置し、延べ1,300人強の相談活動を行った。長期欠席者が微増傾向にあるので、</p>	

原因に応じた対応に今後もきめ細かく取り組んでいきたい。心療内科の専門医による相談は、9件、教育センターへの電話相談は8件であった。

平成28年度発行予定の社会科副読本も今年度から編集を開始し、各小学校から選出された編集委員が、取材等に熱心に取り組んだ。

情報教育推進のため、12月に中学校5校のコンピュータ室のパソコンを新規に入れ替えた(入札による5年リース契約。月額1,493,046円)。今回は、タブレットパソコンも導入し、各教室におけるグループ学習等でも活用できるようにした。

### ③ 今後の取り組みの方向性 (改善策等)

教職員研修推進については、今後とも教育現場のニーズや今日的な課題に応じた研修の実施に努める。特に若年層だけでなく中堅層の研修も実施し、若手職員育成において各学校で力を発揮させたい。

学力向上推進事業では、平成27年4月に小学生版に引き続き「家庭学習の手引き(中学生版)」を発行する。また、各種学力調査の結果を丁寧に分析し、学力向上推進委員会において、必要な対策を検討していく。今後、学習に向かう意欲の向上に焦点を当て、家庭(地域)・学校・教育委員会が連携して、児童・生徒の学力向上が図れるよう配慮する。

社会科副読本の編集では、「富津を愛する子どもの育成」を念頭に、編集事業の最終年として子どもたちの使いやすい副読本となるように心がけて取り組む。

情報教育の推進としては、小学校の教育用コンピュータの更新に向け、必要な情報を収集し、より活用しやすい機器の導入に向けて準備を開始する。

学習面ばかりでなく、教育センター職員が、今後もきめ細かな学校訪問に心がけ、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、特別支援教育、生徒指導、教育相談といった側面からも引き続き支援をしていく。



## FUTTSU 家庭学習の手引き

小学生版

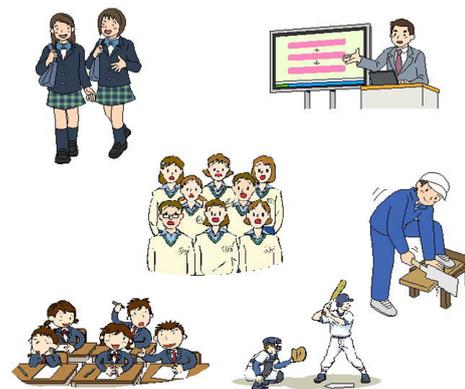


富津市教育委員会



## FUTTSU 家庭学習の手引き

中学生版



富津市教育委員会

## 外部評価者（Ⅰ）の評価

B

## 意見

- ・教育委員会全体を俯瞰すると、十分な予算と人員の確保が困難な状況において、訓練された職員が高いモラルを保ちながら職務に精励していることが推察できます。益々厳しい状況が予想される中、今後も従来と同様に励んでいかれることを望みます。また、評価の基準を目標値に対する到達度の観点に置くと、一部を除きB評価となることは避けられませんが、人口減少傾向や財政問題などの現状を勘案すると一定の評価に値するものと考えます。
- ・教育大綱の策定に関するマスコミ情報では、様々な考え方が伝わってきます。その方向性は今後の検討に委ねられるものと思いますが、その理念と目標の設定については、議論を深め、後世の評価にも耐えられるものとなることを期待します。
- ・検討に着手した市総合戦略の方向性が現状未確定の中、学校施設整備基本計画の策定を初め、各施策・事業の展開は難しい側面もあるかと思いますが、事務局が把握している課題は何れも不可欠なものであり、ためらうことなく解決に向けて最大の努力を傾注されるよう望みます。

## 外部評価者（Ⅱ）の評価

A

## 意見

- ・安全な教育環境の整備に向けて非構造部材の耐震化及び老朽施設解消への動き、給食施設整備、食の安全等への計画や配慮がなされています。
- ・学力向上や生徒指導、教育相談等への指導員やカウンセラーの派遣、教職員向けの研修会の実施等により、個々の子供の実態に寄り添うべく実効性ある取り組みがされています。今後の方向性も明確に示されています。指導員については、各学校からの派遣要請も多いことと思います。個々の子供が学習により理解できた喜びを味わい、学力をつけていける学級・学校づくりのために引き続き指導と援助を期待します。
- ・教育かわら版は、教育部全体での取り組みにより多種多様な記事掲載への努力、更に新たなホームページの活用も加えられたとのこと。こうした記事内容や伝達方法の工夫等により、市民に積極的に情報発信していくことは必要と思います。諸条件の可能な範囲内での継続発行を願うものです。年度初めの記事の1つに、市教育委員会の大まかな年度重点目標等が載せられると、地域の人々の参考になり、子供たちの健全育成推進にむけて連携・協力できると思います。

## 2. 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、文化財の保護と活用

『富津市第3次基本計画』・『富津市生涯学習推進計画』の施策目標と到達点

指 標 名	平成21年度	平成27年度 (目標値)	平成26年度 (到達点)
市民等アンケート「学習やスポーツなどの活動をしている市民の割合」	42.5%	50.0%	—
富津市生涯学習推進大会参加者数	525人	2,800人 (平成23~27年度 累計)	2,478人 (平成23~26年 度累計)
市民等アンケート 「生涯学習活動の推進」の満足度	30.6%	35.0%	—
人材バンク「まちの先生」の利用件数	4件	20件	68件
図書利用冊数	34,395冊	46,000冊	25,601冊
市民等アンケート「青少年の健全育成」の満足度	24.7%	30.0%	—
家庭教育学級参加者の数	782人	890人	643人
市民等アンケート「芸術・文化の振興」の満足度	28.1%	30.0%	—
指定・登録文化財の件数	79件	84件	85件
史跡見学会・講演会参加者数	597人	600人	757人
市民文化祭参観者数	14,692人	21,000人	14,555人
公民館・市民会館利用者数	130,540人	146,000人	118,176人
埋立記念館入館者数	3,806人	5,000人	1,974人

(3) 生涯学習課の取り組み	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業 (525, 785 円)</li> <li>・図書館費 (含：移動図書館事業) (4, 302, 179 円)</li> <li>・子ども会活動事業 (386, 174 円)</li> <li>・青少年相談員活動事業 (896, 890 円)</li> <li>・青少年問題協議会事業 (81, 250 円)</li> <li>・富津市子どもセンター設置事業 (243, 000 円)</li> <li>・家庭教育支援事業 (160, 854 円)</li> <li>・市内遺跡発掘調査事業 (2, 201, 707 円)</li> <li>・民間開発発掘調査事業 (1, 823, 452 円)</li> <li>・史跡等公有化事業 (1, 371, 560 円)</li> <li>・史跡案内板・説明板設置事業 (72, 900 円)</li> <li>・高宕山のサル被害防止事業 (2, 460, 000 円) 等</li> </ul>	
<p>② 26年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業 <p>2月1日に第15回富津市生涯学習推進大会を開催した。546人(前年度比+5人)の参加があった。関豊小学校と関豊合唱団によるオープニングアトラクション、村松真貴子氏の講演は大変好評であった。なお、大規模な講演会方式で行うこの事業は今回をもって休止とした。</p> </li> <li>・図書館費・移動図書館事業 <p>10月から簡易型図書貸出システムを導入した。これにより貸出・返却処理がスムーズになり、貸出可能冊数を従来の3冊から6冊に増やすことができた。全国的に読者離れが指摘される中、年間利用冊数を増加に転じさせるまでには至らなかった(前年度比-656冊)。今度とも蔵書を増やししながら、工夫を重ねたい。</p> </li> <li>・子ども会活動事業 <p>各種の子ども会行事をはじめ、ジュニアリーダー研修会・育成者講習会が実施され、子ども会活動及び組織の充実が図られた。</p> </li> <li>・青少年相談員活動事業 <p>青少年のつどい大会、文化祭の協力(なんでもヤリーナ20分・模擬店)、新年子ども大会、キャンプ大会等が実施され、青少年健全育成活動が推進された。</p> </li> <li>・青少年問題協議会事業 <p>青少年の健全育成に資するため、行政・学校及び各種市民団体代表により警察や学校で把握している事例を中心に協議及び情報交換を行った。</p> </li> <li>・富津市子どもセンター設置事業 <p>子どもの体験活動の機会や家庭教育を支援する情報を収集し、情報誌5,700部を市内小・中学校・幼稚園・保育所(園)に配布した。本事業は、本年度をもって休止した。</p> </li> </ul>	

・家庭教育支援事業

市内5小学校1中学校において家庭教育学級を開催し、参加者は延べ643人であった。

・市内遺跡発掘調査事業

狐塚遺跡Ⅲ・白姫塚古墳の計2か所の発掘調査を実施するとともに、24年度に調査した飯野陣屋本丸跡における2地点と、25年度調査分の植ノ台遺跡7・南砂除遺跡・飯野陣屋三の丸跡の計5か所の整理作業を実施し、調査報告書を刊行した。

・民間開発発掘調査事業

平成17年度に発掘調査した上野遺跡の整理作業を実施し、調査報告書を刊行した。

・史跡等公有化整備事業

国史跡・内裏塚古墳の前方部東側周溝内に所在する土地（1筆469㎡）の買上げを行った。

・その他文化財関係事業

文化財周知板設置事業では、平成25年度に市指定文化財となった木造地藏菩薩立像（金蔵院）、木造地藏菩薩坐像（寶龍寺）の周知板の新設を行った。

高岩山サル被害防止事業では、老朽化した電気柵の改修、発信器の装着、事業対象である高岩山周辺、特に指定地域及び要現状変更地域内に生息するニホンザル個体群を対象に行動域の調査、指定地域の環境改変と生息環境調査を行った。

内裏塚古墳群など市内の史跡見学会や出前講座・講演会などへの参加者は757人（前年度比+105人）であった。

③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）

生涯学習推進事業については、情報提供誌の発行や「まちの先生」事業を中心として継続し推進する。

図書の管理については今後、本格的な図書貸出システムを導入し、利用者が家庭からもリクエストや蔵書検索をできるようなサービスを目指す。

青少年問題協議会については、年1回の開催であるが、関係団体のより綿密な連携・情報交換を図り、青少年健全育成を推進する。

家庭教育支援事業は、現在6校の実施だが、より多くの学校が参加できるよう、他校との共同開催などを働きかける。

各種開発から埋蔵文化財を守り、場合によっては発掘調査による記録保存の策を講じるなど保存に努める。

市内の文化財周知板の整備を進め、老朽化に伴う更新のほか、指定物件以外でも重要性の高いものについては、民間からの協力も得て説明板の設置に努める。

史跡等公有地化整備事業として、引き続き内裏塚古墳単体の公有地化を進めるとともに、内裏塚古墳群全体としての整備方針を検討し、計画を策定する。

その他文化財関係事業として、市の歴史や文化財に関して市のホームページの充実を図るなど広報活動に努める。また、高岩山のサル被害防止事業では、発信機の装着個体を増やし、指定地周辺の群数や頭数を明らかにし、管理計画を策定する。

<p>(4) 公民館等の取り組み ア 中央公民館</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館管理運営事業 (13,049,442円)</li> <li>・市民文化祭事業 (1,275,763円)</li> <li>・中央公民館学級・講座関係活動事業 (737,634円) 等</li> </ul>	
<p>② 26年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化祭事業 <p>富津市民文化祭実行委員会の企画・運営により市民自ら積極的に運営し、生涯学習活動の成果を発表し、親睦と融和を図り、豊かな文化の向上と創造の心を養う文化祭となるよう努めた。</p> <p>10月31日から11月3日まで総合社会体育館・富津公民館・中央公民館・市民会館の4会場で実施し、2,041人(前年度比+30人)の出展者で3,158点(前年度比+76点)の作品、出演者1,539人(前年度比-573人)、参観者延人数は、14,555人(前年度比-53人)であった。本年度も、事業の実施に多くの市民や関係者の協力のもと、生涯学習活動成果の貴重な発表と鑑賞の場所となったが、参加者が限られる傾向もある。</p> </li> <li>・学級・講座事業 <p>対象別(青少年・婦人・成人・高齢者等)や課題別(歴史文化・工芸・健康等)の18(前年度比±0)の学級・講座を開設した。本年度は「中国語学級」を廃止、新規の学級・講座として「キッズダンス教室」「七宝焼教室」を実施、学級・講座全体の開催回数は154回(前年度比-6回)、参加延人数は2,064人(前年度比-147人)であった。</p> </li> </ul>	
<p>③ 今後の取り組みの方向性(改善策等)</p> <p>市民文化祭事業は、実行委員会で文化祭実施後に毎年行う反省会の内容を次年度に生かして、より充実した市民文化祭となるよう取り組んでいく。</p> <p>学級・講座事業は、市民の生活課題や地域社会の共通課題を把握するとともに、多様化している市民のニーズに対応した学級・講座を開設し、学校や地域の各種団体等と連携し、誰もが参加しやすい環境づくりを図る。</p> <p>中央公民館は、築後42年が経過し、老朽化に伴い改修の必要な箇所は多いが、財政状況を踏まえつつ計画的な施設整備に努めたい。</p>	

## 学級・講座開催状況

平成27年3月31日現在

No.	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	ピッコロ学級	5	64	幼児の心身の発達、健康についての講義や移動学習、集団での遊びの実習。
2	シルバー生きがい学級	8	214	高齢者がいきいきと生活できるように、健康についての講義、軽スポーツ・レクリエーションや実習、社会見学等を交えながら学習していく。
3	さわやか女性セミナー	9	196	暮らしに役立つ課題や社会情勢などについて、見学、講義、実践を行いながら学習する。
4	折り紙教室	9	69	伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学ぶ。
5	はつらつウォーキング教室	10	177	ウォーキングのコツ、注意点及び効果などを学び、正しく美しく快適に歩くことにより、心身の健康増進をはかる。
6	読み聞かせボランティア入門講座	5	20	読み聞かせボランティアの未経験者を対象に本の読み聞かせの技術について実践を交えながら学習していく。
7	スマートフォン教室	12	101	中高年を対象に携帯電話を気軽に利用出来るようにし、生活の利便性を拡大する。
8	外国人のための日本語講座	24	190	在日外国人が日本で生活するうえで言葉の壁を少しでも減らし、地域のひととのコミュニケーションがとれるようにする。
9	こどもチャレンジ教室	4	71	創作や体験を通じて自発性、活動性、創造性を育てる。
10	はじめてのクラシックギター教室	10	127	クラシックギターの持ち方から演奏まで、初心者のために1から学習する。
11	いきいき健康体操教室	11	285	自分の体の状態と弱点を知り、身の周りにある器具を使って、弱点を克服する体操を学んだり、グラウンドゴルフ・レクゲームを行ったりして心身の健康増進を図る。
12	アロマリフレッシュ教室	5	15	植物に由来する自然の香りを生活に取り入れ、心身の健康や美容の増進を図る。
13	こども折り紙教室	4	43	親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた日本の伝統工芸折り紙を楽しむ。
14	男の悠遊教室	9	63	男性を対象に日常的に習慣化出来る体操の習得、料理・園芸などの体験、健康等をテーマにした講演を取り入れ、心身の健康増進を図る。
15	鉄道文化歴史講座	8	69	千葉県の鉄道に実際に触れながら、日本の産業と文化の歩みを学ぶ。講師は鉄道ジャーナリスト。
16	プリザーブドフラワー教室	9	179	生花に特殊加工を施し、生花の風合い、みずみずしさ、ソフトな感触を長時間保つ事が出来る花であるプリザーブドフラワーは人気が高まっており、初心者の方でも気軽に楽しみながらさまざまなアレンジメントを学ぶ。
17	キッズダンス教室	8	115	リズムに乗って体を動かし、ダンスの基礎、表現する楽しさを学ぶ。また、ダンスを通じての仲間作りと異年齢の交流を図る。
18	七宝焼教室	4	66	七宝焼の装飾品づくりを学び、自分だけのアクセサリ作品を創る楽しさと出来上がりの達成感を感じてもらう。
	合計	154	2,064	

イ 富津公民館・埋立記念館	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富津公民館管理運営事業 (18,066,089円)</li> <li>・ 成人式事業 (768,158円)</li> <li>・ 富津公民館学級・講座関係活動事業 (456,857円)</li> <li>・ 埋立記念館管理運営費 (3,487,013円) 等</li> </ul>	
<p>② 26年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人式事業 <p>新成人を祝って、平成27年1月11日に開催し、新成人の意見発表等を行った。中学3年生時に本人が書いた「二十歳への手紙」は一昨年度まで事前に本人に届けていたが、昨年度から式典の中で披露し、後日、当日の集合写真と共に郵送する形に改めた。式典不参加者にも手紙は郵送している。</p> <p>今年の新成人該当者は524人で、内412人が式典に出席し、出席率はこれまでとほぼ同程度の78.6%であった。</p> </li> <li>・ 学級・講座事業 <p>対象別(婦人・成人・高齢者等)や、課題別(教養・歴史文化・工芸・園芸・健康等)の13学級・講座(前年度比±0)を開設した。今年度は、新たに「陶芸教室」を行い、全開催回数は106回(前年度比+4回)、学級・講座全体の参加延べ人数は2,153人(前年度比+35人)であった。</p> </li> <li>・ 施設整備 <p>空調機の冷温水発生機修繕を行った。また、富津公民館の床タイル目地入れ工事を行い、美観を改善するとともに利用者の安全を図った。</p> </li> </ul>	
<p>③ 今後の取り組みの方向性(改善策等)</p> <p>成人式の記念品として、式典会場での全体集合写真を贈呈し好評を得ていることから、今後も可能な限り継続する。式典の内容等については、毎回、公民館運営審議会等で意見を伺いながら工夫に努めているが、今後も適宜検討を加えていく。</p> <p>富津公民館は、築後30年が経過し、老朽化による設備故障等の発生頻度が年々高まる傾向にあるが、館の運営や事業に支障をきたすことのないよう、日常的な施設の保守管理と、財政状況を踏まえた計画的な施設整備に努めたい。</p> <p>埋立記念館は、平成27年度から、入館料の無料化と平日の無人化を実施することとなったが、今後も入館者数の増加に向け、広報等に努める。</p> <p>学級・講座事業については、今後も事業内容や学習手法等を十分検討し、利用者や各種団体等と連携して、誰もがより参加しやすい環境づくりを進め、市民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努める。</p>	

## 学級・講座開催状況

平成27年3月31日現在

	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	高齢者教室	8	280	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るため、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学ぶ。
2	女性の趣味・教養講座	8	109	女性の教養や趣味を広げるきっかけとなる学習をする。
3	園芸教室	10	229	花や樹木の手入れ、管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫の駆除などの園芸技術を学習する。
4	男の料理教室	8	194	手軽に作れる日常の惣菜など、初歩的な調理技術と酒の肴など、男性ならではの実践的な料理づくりを学ぶ。
5	東京湾学講座	14	550	富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化、自然などについて、幅広い知識を学び、また、探査会を実施し学習していく。
6	やさしい介護講座	7	52	介護の基礎的な知識と実践についての指導を通し、様々なケースの介護知識の習得と体験を通して障害者等の介護法を学ぶ。
7	健康スクール教室	8	174	自分でできる運動を中心に、日常的に体を動かす楽しさを学ぶ。
8	わらべ歌遊びと共育ち教室	8	131	子育ての中に、わらべ歌遊びを豊かに取り入れ、親子のふれあいを深める。
9	韓国語教室	16	202	日本の隣国である韓国の言語と日常会話を学び、韓国の伝統文化についても、併せて学習する。
10	大人チャレンジ教室	1	15	日常生活の中では、なかなか体験できない伝統文化・技術などにチャレンジする。
11	エコパッチワーク教室	8	112	エコ、リメイクの意識を高めるため、古着の布と新しい布を組み合わせて使用し、パッチワークを学ぶ。
12	ウォーキング教室	4	32	熟年層を対象にウォーキング、体操を取り入れ、肥満や運動不足からくる生活習慣病の予防、ストレスの解消を図る。
13	陶芸教室	6	73	お皿や小鉢など、世界にひとつだけの「わたしの器」作りを楽しむ。
	合計	106	2,153	

ウ 市民会館・峰上地区公民館	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館管理運営事業 (28,763,521円)</li> <li>・市民会館学級・講座関係活動事業 (548,966円)</li> <li>・峰上地区公民館管理運営事業 (1,209,072円) 等</li> </ul>	
<p>② 26年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化事業 <p>隔年実施の富津市民文化事業「ふつつ学びの門」については、来年度実施に向けて実行委員会にて内容を検討した。</p> </li> <li>・学級・講座事業 <p>対象別(青少年・成人・高齢者等)や課題別(教養・歴史文化・茶道・手芸・健康教室等)19の主催学級・講座(前年度比+2)を開設し、市民に幅広く学ぶ機会を提供し、講座を通じての人づくりや地域づくりに寄与した。なお、今年度新たに「よくわかるスマートフォンの使い方講座」・「学び舎の食卓」・「コーヒー講座」を開設した。学級・講座全体の全開催回数は140回(前年度比+16回)、参加延べ人数は2,130人(前年度比+104人)であった。</p> </li> <li>・施設整備 <p>市民会館では、経年劣化により故障していた浄化槽ブロワーモーターの交換、空調の吸収冷温水機真空部品交換やホール屋根の一部の補修を実施した。また、峰上地区公民館では、台風18号により破損した屋根や雨樋の修繕を行い安全性の確保に努めた。</p> </li> </ul>	
<p>③ 今後の取り組みの方向性(改善策等)</p> <p>主催事業である学級・講座が、常にフレッシュな内容であるよう努め、学校や地域との交流を深める等、新しい年代層や利用者の増加に努める。また、自立が見込める教室・講座は、サークルとして活動を広げていけるよう協力し、地域の人材を活用した新たな教室・講座の開設に努めていく。</p> <p>市民会館は、築後26年が経過し、老朽化が進んでいる。市民が快適かつ安全、安心、便利に利用できるよう、財政状況を踏まえつつ、計画的な施設整備に努めたい。</p> <p>峰上地区公民館については、築後51年経過している上、木造であるため施設整備等に対する保守点検を徹底し、安全性の確保及び管理運営に支障をきたすことのないよう努めたい。</p>	

## 学級・講座開催状況

平成27年3月31日現在

No.	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	歴史探訪講座	10	345	地域の歴史を文化・自然・人物・史跡などから再発見、学習する。
2	韓国生活文化教室	6	24	簡単な日常会話や料理・衣服など韓国の生活文化について料理等の実践を通して学ぶ。
3	こどもダンス教室	13	217	リズム感を養いながら音楽に合わせて体を動かし、ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。
4	煎茶道講座	9	112	玉露、煎茶、紅茶、番茶の点前を通し、作法・所作を学ぶ。
5	折り紙教室	6	59	指先を使うことにより脳の活性化を図ると共に、多様な和紙を用いて折り紙芸術作品づくりを進める。
6	スローライフ楽塾	9	146	団塊世代を含めた新たなライフスタイルを探求したい人を対象に、インドア、アウトドアを問わず様々な体験を通して学ぶ。
7	健康増進教室	2	72	ハイキングやウォーキングにより、地域探訪をしながら心と体のリフレッシュを図る。
8	エコ・スクール	9	159	自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイクル等の学習や現地視察を行い、幅広く学ぶ。
9	こどもチャレンジ教室	5	92	家庭とは異なる環境で、親子での共同作業や体験を行い、自主性、創造性、社会性を育む。
10	シルバー生きがい学級	9	256	高齢化が進む中、レクリエーションや学習をおし参加者がふれあえる場を作り、仲間づくりをする。
11	パッチワーク教室	8	48	様々な作品作りを進め、素材選びや布を組み合わせる楽しさを味わうと共に、製法の技術を学ぶ。
12	初めての紙バンド手芸教室	7	66	古紙から再生された環境にやさしい紙バンド（エコクラフトテープ）を使い幅広く作品作りを学ぶ。
13	マネーライフ講座	6	36	難解な経済、金融の仕組みや用語の解説を受けながら、お金の流れや生活設計の仕方など新時代のマネーライフについて学ぶ。
14	和菓子教室	9	202	日本古来から伝わる和菓子作りを基礎から学ぶ。
15	季節の草木染め講座	5	67	四季の中で育った草木を使い、染め物の染料とすることを考えた先人の知恵「草木染め」を学ぶ。
16	初心者向けの3B体操	7	70	初心者を対象に健康で過ごすために、体を鍛えて病気にかかりにくくすることを学ぶ。
17	よくわかるスマートフォンの使い方講座（新規）	12	80	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。（シニア向け）
18	学び舎の食卓（新規）	5	44	学校給食の昔懐かしい献立から現代のメニューまで、栄養面から学習しながらの料理教室。
19	コーヒー講座（新規）	3	35	体に良いコーヒーの入れ方や、お菓子に合うコーヒーの選び方等、日常に使えるコーヒーの講座。
	合計	140	2,130	

## 外部評価者（Ⅰ）の評価

B

## 意見

- ・人口の推移を勘案すると、利用者数・参加者数を増加に転ずることは困難が伴います。総合戦略の策定は、施策を「数」から「質(市民満足度)」の向上に向けて転換する契機といえます。各界・各層の意見を参考に、議論を深め、成果を自信を持ってアピール出来るように努力をお願いします。
- ・簡易型図書貸出システムの導入は、目立つ施策ではないものの、利用者にも携わる職員にも利便性が大きく向上したといえ、努力に感謝します。「質」の向上に向けた提案として、貸出窓口に読みたい本や要望などのアンケート用紙を置き、需要の把握に努めるとともに、市民との距離感を少しでも縮める方策も一つの考え方です。
- ・内裏塚古墳群全体の整備方針を検討するとありますが、この以前からの課題は、進展の気配が見えません。その理由の一つに、職務が学芸員資格者としての職員に属人化していることもあり得ます。原因を分析し、組織として補完し合い対応していくことを望みます。

## 外部評価者（Ⅱ）の評価

B

## 意見

- ・事業内容が広範囲にわたるので市民ニーズをとり入れた円滑な事業展開に向け、企画・調整そして運営にとご苦労があると思います。高齢者から子供まで参加し発表できるものが用意され生涯学習の機会や場づくりに合致して事業を推進されていると思います。
- ・講座やサークル紹介（新聞折り込み）は、市民にとって情報源として役立っています。あるサークルでは、それを見て、参加希望者が増え活性化につながったとの話も聞いています。
- ・点検・評価は、担う事業が多い関係でどうしても網羅的になり易いとは思いますが。全般に数的な実施状況は、一覧表でわかりやすいです。評価となると、例えば新企画や改善した事業などにスポットを当てて主催者の立場で次年度への反省や考察まで記述がほしいです。また、一覧表記入の数値が、「取り組みの概要と効果」に再掲部分が多いです。
- ・家庭教育支援事業について、学校側の生の声も集約し検討することが必要ではないでしょうか。

### 3. スポーツ・レクリエーションの振興

『富津市第3次基本計画』・『富津市生涯学習推進計画』の施策目標と到達点

指 標 名	平成21年度	平成27年度 (目標値)	平成26年度 (到達点)
市民等アンケート「スポーツ・レクリエーションの振興」の満足度	37.2%	40.0%	—
スポーツ関連の行事参加者数	16,000人	17,700人	14,563人
総合型地域スポーツクラブの数	1か所 〈平成22年度〉	2か所	1か所

#### ○第32回市民ハイキング



(5) 生涯学習課(旧体育振興課)の取り組み	教育委員会の自己評価	B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育振興事業 (6, 156, 114 円)</li> <li>・ふれあいスポーツフェスタ事業 (754, 445 円)</li> <li>・市体育施設管理運営事業 (29, 905, 857 円)</li> <li>・スポーツレクリエーション推進事業 (422, 663 円) 等</li> </ul>		
<p>② 26年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育振興事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民がスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりをする中で、豊かな生活が営まれるように各種スポーツイベント等を実施。また、スポーツ・レクリエーション推進員によるニュースポーツ教室としてペタンク教室や、小学校のクラブ活動でドッジビーを教えるなど、誰でも気軽に参加できる軽スポーツの普及を図った。</li> <li>富津市長杯争奪少年野球大会 140 人 (前年度比：-14 人)</li> <li>富津市教育長杯争奪少年サッカー大会 160 人 (+20 人)</li> <li>第32回F T S少年剣道大会 339 人 (-40 人)</li> <li>「県民の日」記念第31回グラウンドゴルフ大会 113 人 (-9 人)</li> <li>「県民の日」記念第31回バドミントン大会 272 人 (+20 人)</li> <li>第21回F T S杯争奪少年柔道大会 169 人 (±0 人)</li> <li>第32回F T S杯争奪少年野球大会 140 人 (+8 人)</li> <li>第20回健康ウォークラリー大会 85 人 (-22 人)</li> <li>君津地区スポーツレクリエーション祭歩け歩け大会 321 人 (+17 人)</li> <li>第33回F T S杯争奪インドアカ大会 26 人 (-1 人)</li> <li>第23回F T S杯争奪ソフトバレーボール大会 37 人 (+3 人)</li> <li>第20回F T S杯争奪グラウンドゴルフ大会 72 人 (+13 人)</li> <li>君津地区スポーツレクリエーション祭(インドアカ・ソフトバレー・グラウンドゴルフ) 80 人 (+24 人)</li> <li>富津市教育長杯争奪少年野球新人大会 140 人 (+14 人)</li> <li>第3回ふれあいドッジビー大会 103 人 (+11 人)</li> <li>第39回ママさんバレーボール大会 133 人 (+2 人)</li> <li>第32回市民ハイキング 106 人 (+59 人)</li> <li>第44回元旦歩こう大会 299 人 (-66 人)</li> <li>第44回新春バドミントン大会 44 人 (-241 人 H26は小学生のみ実施)</li> <li>第27回新春グラウンドゴルフ大会 103 人 (-7 人)</li> <li>スポーツ教室(毎週土曜日) 4,918 人 (+835 人)</li> <li>第5回富津市バスケットボールフェスタ 945 人 (+73 人)</li> <li>ニュースポーツ教室 38 人 (新規)</li> <li>中央公民館なのはなさわやかサークル 30 人 (±0 人)</li> </ul> </li> <li>・ふれあいスポーツフェスタ事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の手づくりによる健康づくり、体力づくりを目的に多くの市民がスポーツに親しめるよう、これまで以上に幅広い団体等に参加を呼びかけながら開催準備を行ったが、荒天</li> </ul> </li> </ul>		

により中止となった。(−3, 100 人)

・市体育施設管理運営事業

公益財団法人富津市施設利用振興公社を指定管理者として管理運営を実施し、市民サービスの向上を図った。

総合社会体育館 主体育館 531 件 50,858 人 (+10 件 +2,283 人)

小体育館 735 件 8,999 人 (+90 件 −549 人)

会議室等 51 件 536 人 (+1 件 −234 人)

富津運動広場 88 件 1,662 人 (+18 件 +235 人)

新富運動広場 112 件 13,548 人 (−22 件 +206 人)

浅間山運動公園 テニス等 782 件 4,240 人 (+155 件 +921 人)

野球 95 件 3,734 人 (−2 件 −411 人)

・小中学校体育施設開放事業

75 団体 5,961 日 126,605 人 (延数) (−4 団体 +126 日 +2,724 人)

・第37回千葉県民マラソン大会

市民等の心身の健全な発達とスポーツ振興、富津市の名産品などの紹介や販売を行うことによる観光振興に寄与することを目的として、千葉日報社と協力して千葉県民マラソン大会を実施。地元住民による沿道応援や、会場でのイベントなどを行い大会の活性化が図られた。

エントリー5,750 人 (+1,125 人) 完走数4,518 人 (+1,233 人)

③ 今後の取り組みの方向性 (改善策等)

・社会体育振興事業

スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、各種スポーツイベント等の参加者の増加を図れるよう検討する。

・ふれあいスポーツフェスタ事業

予算の削減があったことから、大会の大幅な変更が必要となる。会場や開催方法などを関係団体と協議し、準備を進めていく。

・市体育施設管理運営事業

施設の老朽化に伴い各施設ともに補修等が必要となっていることから、計画的に施設の補修を進めていく必要がある。

・千葉県民マラソン大会

大会終了後に行われている実行委員会での反省点を活かし、当初の目標であるスポーツ振興・観光振興をより充実させた大会を目指し準備・開催をする。

外部評価者（Ⅰ）の評価

B

意見

- ・ちば県民マラソン大会の運営に関しては、沿道応援をはじめ各種の工夫がなされ、大会活性化にとどまらず、まちづくり・交流人口の拡大に多くの寄与がなされたといえ、関係者の努力に敬意を表します。今後は多少時間をかけてでも、地域住民が自主的にランナーをもてなす機運が高まるよう、その契機を行政がサポートし、市民とランナーが一体となりリピーターの確保と、新規参加者の拡充に努めてもらいたいと思います。
- ・体育施設の管理運営については、良好に保たれることで体育の振興が図れ、また合宿利用者の確保も出来るもので、これはハード面だけでなくソフト面も重要な要素であり、指定管理者と緊密な連携を図りながら、質の維持と向上を目指していただきたい。

外部評価者（Ⅱ）の評価

B

意見

- ・スポーツフェスタ事業（荒天により中止で残念でした。）での幅広い年齢層への呼びかけ・ポスター掲示などの取り組みにより参加促進に努められたこと。また、内容の見直しや、他分野と連携してのフェスタを考え中とのこと。次年度につなげ実行できると良いと思います。
- ・「県民マラソン大会」は、年々運営面の整備等がなされ、参加者も増加中とのこと。市民のボランティアグループの協力も組織的に得られて実施されたことは、大会の盛り上がり、活性化の面からもよい工夫と思います。